

労働災害・第三者災害・**トラブル**発生報告書

制定 H 7. 2. 22  
改15 H 27.8.15

(一報 二報 三報)

所名 大阪 SC 和泉面営ST

発生日時 7月6日 9時 10分

報告書作成 7月8日 16時 00分

工事名	SE堺インター前店 除草工事	工事番号	218158491	SC ST員名	佐藤	SC ST名	和泉面営
発注者	㈱セブン-イレブン・ジャパン	工期	2021年7月6日		進捗率	100 %	



**〔根本原因〕**

- ・草刈り範囲の障害物・既設物等がないか事前の点検を行わずに作業を進めていること。
- ・植栽部の埋設物・障害物等の存在を店舗とアング・図面等で現調時に確認されていないこと。

**〔再発予防策〕**

- ・作業範囲を区分して、作業前に障害物・既設物等の調査を実施して作業を進めること。
- ・作業範囲の埋設物・障害物等の存在有無を店舗とアング・図面等で現調時に確認し情報を共有すること



労働災害・第三者災害・**トラブル**発生報告書

制定 H 7. 2. 22  
改15 H 27.6.15

(一報 二報 三報)

所名 大阪 SC 和泉面営ST

発生日時 7月6日 9時 30分

報告書作成 7月6日 18時 00分

工事名	SE東大阪中小阪ST目店 除草剪定工事	工事番号	218130355	SC ST員名	佐藤孝志	SC ST名	和泉面営ST
発注者	㈱セブン-イレブン・ジャパン	工期	2021年7月11日		進捗率	0 %	



**〔根本原因〕**

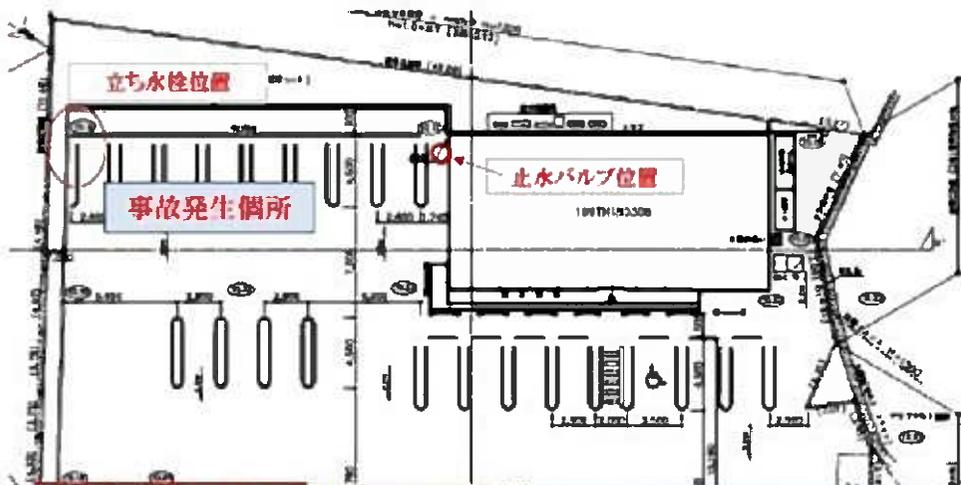
- ・草刈り機の点検中に稼働させたまま手から離し、接触防止処置やエンジン稼働を停止していないこと。
- ・稼働中の草刈り機のそばで、虫よけ剤散布を行っていたこと。(離隔を取らず、後ろ向きで移動)

**〔再発予防策〕**

- ・草刈り機等の機械を手から離す際は、稼働させたままにせず稼働を停止させてから手を放すこと。
- ・草刈り機等の回転機械の周囲には、立ち入らせない棒区画や表示、作業員へ離隔を確保をさせること



災害発生状況図(平面図)



5/22 現調時の状況



現調の日視だけでは確認できない



手前を順に除草していた

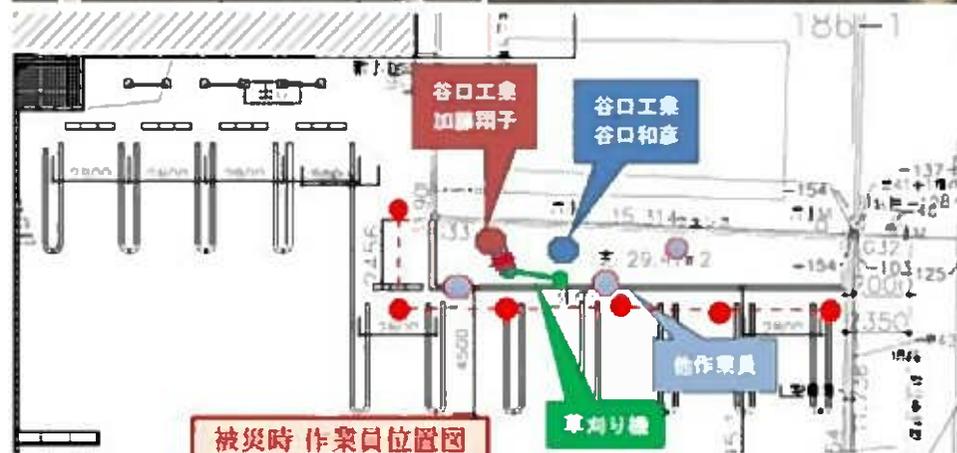
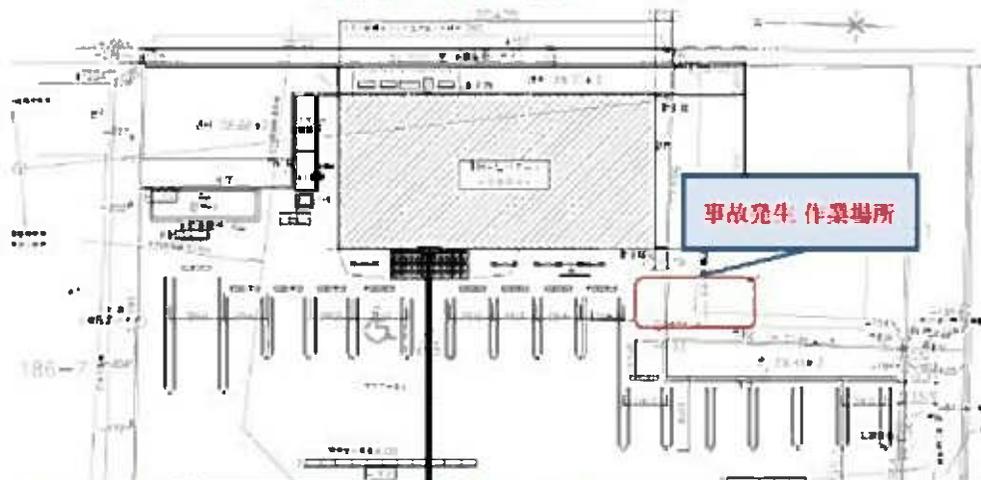


破損した立ち水栓



雑草に隠れていた立ち水栓

災害発生状況図(平面図)



被災時 作業員位置図

災害発生状況図(平面図)



破損した立ち水栓



復旧された立ち水栓



復旧された立ち水栓

災害発生状況図(平面図)



職員:谷口和彦  
草刈り機操作者

被災者:加藤翔子

作業前 作業員服装



使用機械:草刈り機

Uハンドル

MEM2300U デンジョンレバー

標準小売価格36,200円(税別)



国内排出ガス  
自主規制  
(3次)適合

■ダンパーシャフト  
低振動&棘巻れ防止



軽快チップソー付

質量 4.6kg | タンク容量 0.5L

使用していたエンジン草刈り機



丸山製作所 BK236S

【仕様】

- 太めの背の高い草に
- 野草や農道沿いの草刈などに

【仕様】

- 質量:4.5kg
- 使用燃料 1:50混合燃料
- 容量:0.55L
- 運転時間:約80分



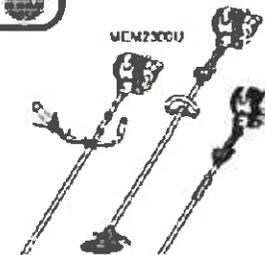
店舗左壁面際に設置される止水栓



取扱説明書

エンジン刈払機

- モデル MEM2300U
- モデル MEM2300L
- モデル MEM2300W



目次

- 国内輸出ガス規制について ..... 2
- シンボルマークについて ..... 3
- 安全上のご注意 ..... 5
- 注意レベル ..... 14
- 仕様 ..... 15
- 各部の名称 ..... 16
- 使用手順 ..... 18
- 1. ハンドルの組み立て方
- 2. 燃料タンクの取り付け方
- 3. 刈刃の取り付け・取りはずし方
- 4. 調整のセッティング(緊急用調整)の操作方法
- 運転 ..... 22
- 1. 燃料の供給
- 2. 始動方法
- 3. 停止方法
- 4. 操作方法
- 5. マフラーの掃除

注意

- 刈刃が石や硬石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。  
使用中に刈刃が石や硬石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因となります。
- エンジンの始動は安定のよい場所で行ってください。  
事故の原因となります。
- 作業に合った刈刃の回転数で使用してください。  
回転数が低すぎると草がつかず、回転数が高すぎると草が思いだけでなく、本機の寿命を縮める原因となります。
- 長時間の作業は、身体に負担がかかります。連続使用時間は30分以内とし、一連作業の後は5分以上の休止時間を設けてください。また一日の作業時間は2時間以内としてください。  
疲労すると注意力が欠け、けがや事故の原因となります。

- 使用中およびエンジン停止直後、マフラー、シリンダフィンなどの高温部に身体が触れないように注意してください。  
けがの原因となります。

高温注意



- エンジンをかけたまま放置しないでください。事故の原因となります。



- 本機から離れる時、または休憩時にはエンジンを停止し刈刃の回転が停止したことを確認してから刈刃に刃物カバーを取り付けてください。  
けがの原因となります。

【参考】園芸用では、作業時の騒音管理のため、次のような基準が設けられています。

1回の連続作業時間	30分以内
1日の作業時間	2時間以内
1週の作業日数	5日以内
1月の作業時間	40時間以内

- ..... 30
- ..... 31
- ..... 30
- ..... 31
- ..... 40